

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	障がい者・児歯科診療事業運営費補助金	開始 年 度	平成15年度
団 体 名	一般社団法人 函館歯科医師会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	心身障がい者（児）等は、一般の歯科診療所での治療が困難な場合が多く、口腔内の状況が劣悪であるばかりか、身体にも悪影響を及ぼしているケースが多く、対応が求められてきた。このため、市として歯科医師会が心身障がい者等の歯科治療を行うことができるよう、平成15年に総合保健センター内に口腔保健センターを整備し、同年から本補助金を交付している。
目 的	（目 的） 一般の歯科診療所での診療が困難な障がい者・児の歯科診療の機会を安定的・継続的に確保する。
・ 効 果	（効 果） 障がい者・児の歯科診療機会の確保により障がい者・児の健康保持に寄与する。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	預金取崩他	計
		市	その他					
収 入	26	7,623	961	5,517			151	14,252
	27	7,623	1,003	5,031			792	14,449
	28	7,623	982	4,357			1,039	14,001
	29	7,623	961	5,098			1,668	15,350
	30	7,623	940	4,713			2,473	15,749
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	その他諸費		計
	26	9,681	1,110	2,926		535		14,252
	27	10,703	956	2,209		581		14,449
	28	10,593	952	1,883		573		14,001
	29	11,173	1,134	2,446		597		15,350
	30	11,104	1,283	2,446		916		15,749

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	障がい者・児歯科診療事業運営費補助金
----------------	--------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	一般の歯科診療所での受診が困難である障がい者・児に対し適切な歯科診療の機会を提供する事業であり、公益性およびニーズが高い。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	障がい者・児の健康保持に重要であり、また、採算の取れる事業ではないことから、補助は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	事業の実施主体である歯科医師会も運営努力しているが、一般診療とは異なる体制が必要であり、診療報酬だけでは賄いきれない事業である。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	事業を安定的に継続するために補助は有効である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	補助金の算定にあたっては、次年度の事業計画を適正に審査し、その収支不足相当額を補助している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	障がい者・児歯科診療事業運営費補助金
----------------	--------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

平成28年度	診療日数および受診者の予定数	51日	694人
平成29年度	診療日数および受診者の予定数	46日	640人
平成30年度	診療日数および受診者の予定数	45日	690人

(達成状況)

平成28年度	診療日数および受診者の実績数	51日	675人
平成29年度	診療日数および受診者の実績数	46日	700人
平成30年度	診療日数および受診者の実績数	46日	672人

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。

(評価)

- ☒ 十分効果をあげている
☐ 一定の効果をあげている
☐ 効果が疑問である
☐ その他

(理由)

一般の歯科診療所での診療が困難な障がい者・児（脳性麻痺，筋疾患，精神遅滞，自閉症，染色体異常など）の口腔ケアおよび治療を年間延べ約700人に行っており，障がい者・児の歯・口腔の健康の保持増進に寄与している。

○今後の方向性

- ☒ 現行のまま補助を継続
☐ 見直したうえで補助を継続
☐ 廃止
☐ その他

(見直しの内容)

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐	終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和 3 年度	☒	終期到来時に再検討	令和 3 年度